



2021年2月12日

各位

上場会社名	東邦亜鉛株式会社	
代表者	代表取締役社長	丸崎 公康
(コード番号	5707)	
問合せ先責任者	経理部長	田邊 正樹
(TEL	03-6212-1716)	

減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり減損損失を特別損失として2021年3月期第3四半期に計上することを決議いたしました。

記

I. 減損損失の内容

当社の連結子会社である豪州鉱山会社 CBH Resources Ltd. (以下「CBH社」という)において、使用価値の算定に用いられる市況前提(主に為替相場)を市況の変化に対応して見直した結果、現在操業中のラスプ鉱山において将来見積キャッシュ・フローが減少して、固定資産の回収可能価額(時価)が帳簿価額を下回る結果となり、2021年3月期第3四半期(CBH社は12月決算のため、同社における2020年1月から2020年9月の期間に相当)において1,468百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

II. 連結業績に与える影響

上述の通り、減損損失を計上しましたが、他方でこれは将来の減価償却費負担の軽減効果を有し、かつ、将来の減損リスクの軽減に資するものです。

今後は高品位鉱体の更なる開発にも力を入れるとともに、生産計画の見直しを行い、同鉱山の収益力の向上に注力します。

なお、2021年1月5日に開示いたしました「特別損益の計上に関するお知らせ」に記載の通り、2020年末にCBH社の保有資産(在豪州非鉄精鉱の港湾荷役事業等)を売却し、2021年3月期第4四半期でおおよそ30億円の売却益を計上いたします。

以上